

作業名	巻き枯らし間伐実験2006	担当者1	大日向
		担当者2	林

目的 森林の将来像も書いて下さい。	手入れの遅れたヒノキ若齢林を、巻き枯らしにより実験的に間伐する。 将来的には、木材生産林として適正な手入れをすすめる。
----------------------	--

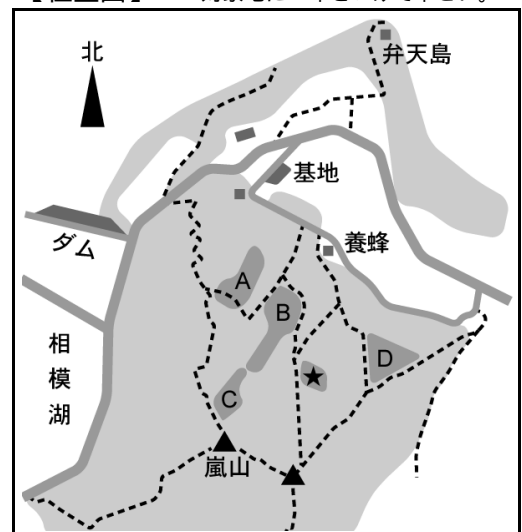
主な作業者	森林整備班、緑のダム学校、初参加者	期間	2006年7月～ (巻き枯らし木が倒れる10-15年後まで継続)
-------	-------------------	----	-------------------------------------

作業内容とスケジュール	06年7月：選木、8月：皮はぎ、その後は年に数回様子を見る。
-------------	--------------------------------

【森林情報】 必要に応じて森林簿を参照して下さい。

場所	嵐山・小原・他()
森の通称名	巻き枯らし実験林
小班(ポリゴン)	45-2
およその面積	50×50m
林の種類	人工林・天然林・他()
主な樹種	ヒノキ
林齢	約40年生
平均樹高	約15m
所有者	鈴木さん

【位置図】 対象地に印をつけて下さい。



【チェック項目】 適合項目に印をつけて下さい。

要確認	保安林の規制はクリアしていますか？
	県立自然公園の規制はクリアしていますか？
	貴重な動植物への配慮はしていますか？
	沢の環境への配慮はしていますか？
	文化的財産への配慮はしていますか？
	作業安全上の配慮はしていますか？
	近隣住民や関係者への配慮はしていますか？
	境界線ははっきりしていますか？
	全体の森づくり計画に合致していますか？

【備考】

2005年の実験の延長。一部、武蔵工大が実験中のエリアあり。また、手入れを一切施さない荒廃見本林も残す。